

令和5年度第1回出雲市地域公共交通活性化協議会

と き 令和5年(2023)5月10日(水) 10:00～

ところ 出雲市役所 大会議室

出席者 17名(うち代理出席1名)

1. 開会

2. あいさつ

(会 長)

皆様におかれましては、大変ご多忙の中、本協議会にご出席を賜り誠にありがとうございます。

私はこの4月から総合政策部長に着任しております間島と申します。あわせまして、本協議会の会長の任に努めたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

皆様ご承知の通り今週月曜日8日から新型コロナが季節性インフルと同じ5類に位置付けられました。これをきっかけに、感染予防には努めながら、公共交通の利用が以前より回復し、さらには活気づいていくことを期待しているところでございます。

昨年度は、この協議会を5回、ワーキング部会を4回開催していただきまして、慎重にご審議いただきました結果、このお手元の計画が策定できました。改めまして感謝申し上げます。

今年度は、この計画を実行していく初年度ということになりますので、この計画に載せております様々な諸施策、これを着実かつ具体的に、実行していく必要があると思っております。この後、今年度の事業につきまして、ご説明、ご報告いたしますので、皆様におかれましては、忌憚のないご意見をいただきますようお願いを申し上げます。冒頭に当たってのごあいさつとさせていただきます。

本日はどうぞよろしく願いいたします。

3. 委員紹介

(事務局)

ありがとうございました。

ここで、人事異動等で、今回より新たに委員に就任された皆様をご紹介したいと思います。

～新委員の紹介及びあいさつ～

(事務局)

ありがとうございました。

次に本協議会の本日の出席状況についてご報告させていただきます。名簿をお手元にお配りしておりますけれども、西日本旅客鉄道株式会社山陰支社からお出かけいただいております島委員、出雲観光協会からお出かけいただいております稲根委員が本日もご欠席でございます。

それから県の交通対策課山影委員もご欠席で、代理で大谷様にご出席を

いただいております。

それから事務局側も、4月の人事異動で新しい事務局の職員が1人交代しておりますので、ご紹介いたします。

～新事務局員の紹介及びあいさつ～

(事務局) それでは議事に入ります前に配付した資料の確認をさせていただきたいと思います。

～資料確認～

それではこれから議事の方に移って参ります。規約によりまして、議長は会長が務めるということになっておりますので、間島会長よろしくお願ひします。

4. 議事

(会 長) それでは、お手元の次第に従いまして議事を進行して参ります。

第1号議案、令和4年度事業報告。そして第2号議案、令和4年度決算報告について事務局から一括して説明をお願いします。

(事務局) ～第1号議案、第2号議案について資料により説明～

(会 長) それではここで監事さんからの会計監査報告をお願いしたいと思います。

(監 事) 失礼します。

令和4年度出雲市地域公共交通活性化協議会会計監査において、帳票及び証拠書類の照合の結果、適正であったことをここに報告いたします。

(会 長) ありがとうございます。

それでは、1号議案、2号議案について、ご意見質問をお受けしたいと思います。

事業報告、決算報告、よろしいでしょうか。

～質疑なし～

ご承認いただける方は、拍手をお願いしたいと思います。

～拍手多数～

(会 長) ありがとうございます。1号議案、2号議案については承認されました。

続きまして、第3号議案、令和5年度事業計画(案)そして第4号議案、令和5年度予算(案)について事務局から一括して説明をお願いします。

(事務局) ～第3号議案、第4号議案について資料により説明～

大変失礼をいたしました。支出の合計、比較増減の計でございますが、775,546円の減です。

これについては後日差し替えをさせていただきます。大変失礼をいたしました。説明は以上です。

(会 長) 資料の訂正をお願いします。6ページの4号議案の支出の方の増減の

計。こちらが 775,546 円の減ということで、訂正をお願いしたいと思いません。大変申し訳ございませんでした。

それでは、3号議案と4号議案につきましてご意見ご質問のほうをお受けしたいと思えます。いかがでしょうか。

先ほど乗り合いタクシーの実証運行については事業実施計画の中で説明するというお話でしたけれども、確認ですが、実証運行そのものについては市の予算で行って、この協議会の予算では支援業務を行うという整理でよろしいですね。

(事務局) はい。そうです。

(会長) 実証運行そのものはこの後に、改めてご説明をさせていただくということになります。ご質問等いかがでございましょうか。

～質疑なし～

3号議案、4号議案につきまして、承認いただける方は拍手をお願いします。

～拍手多数～

(会長) ありがとうございます。承認されました。

5. 出雲市地域公共交通計画事業実施計画について

(会長) 続きまして次第の第5 出雲市地域公共交通計画事業実施計画について事務局から説明をお願いします。

(事務局) ～出雲市地域公共交通計画事業実施計画について資料により説明～

(会長) 実施計画について説明をさせていただきましたが、2ページの下のところの令和6年12月というのは、令和5年12月が正しいということですね。

(事務局) はい。申し訳ありません。

(会長) 6年ではなくて5年が正しいということでした。

この実施計画につきまして、ご意見ご質問をお受けしたいと思えます。いかがでございましょうか。

(副会長) 佐田地域のドアツードアのこのシステムは、例えばタクシーで利用するのか或いは小型バスでやるのかという手段がどうなのかということ。それからまだ導入前ですからこれからいろいろ検討されると思いますが、月額料金を1日で換算すると約100円で安いですが、利用する人と利用しないとは、かなり格差が発生するかと思います。その辺の考え方はいかがかお聞かせください。

(事務局) 使用する車は4事業者のタクシー車両を想定しております。乗り合い人数としては最大でも4人になるというように考えております。

利用料金については月額料金3,300円で設定していますが、日数で割るとということになりますと、20日で割って100円ちょっとになるかと思

います。乗り合いタクシーを走らせると、経費もそれなりにかかります。その経費を利用者の方でも負担していただいて、地域の交通を守るという意味で、定額の3,300円を負担していただくということにしております。

利用者については、月乗り放題ですので、今の生活福祉バスを考えると、1回利用が200円ですので、毎週2回乗っていただいている方は、今までと同じような金額で行ったり来たりができるということになります。

また、今まではバス停まで出ないといけないが、家の付近まで来ていただけるということを考えると、そんなに高い料金ではないのかなという気はしております。

そのような回答でよろしいでしょうか。

(副会長)

わかりました。

これからの課題だと思いますが、例えばこのシステムですと斐川のみながらタクシー制度もありまして、出雲市全体の、幹線と地域のこのシステムが、ある程度一元化といいますか、同じシステムにしないと、いろんな面でお互いに格差が生じる懸念があります。

これから見直しなど入ってくるとは思いますが、できるだけ一つの体系のなかで、それぞれの地域で公共交通システムがあるということがよろしいのではないかと思います。

(会長)

事務局からなにかコメントがありますか。

(事務局)

今回の計画の中で、29ページを見ていただくと、わかりやすいと思いますが、これを将来の公共交通ネットワークという形で考えています。現在、地域間の違いはあろうかと思えますけども、その一元化はなかなか難しいかもしれませんが基本的にこういう大きな枠組みの中で考えていかないといけないと思っています。

その際にはまた地域の皆さんのご協力が不可欠ですので、ご協力の方また改めまして、よろしく願いいたします。以上です。

(委員)

公共交通の担い手不足ということで、タクシーの運転士さんもかなり不足しているように感じております。11時以降はなかなか、もうつかまらないという状況だと思います。

担い手不足ということで、新卒の方、高校生とかをこれから募集していくということでございますけども、この間ちょっとタクシーの運転手さんと話す機会がございまして、これは参考意見でございます。

当然高校生とかそういう新しい担い手を作っていくのは、大事なことです。タクシーに乗るお客さんというのはおそらく年上の方がほとんどだと思います。中には飲んで帰られる方とか。

それで若い人たちは年配の方に比べてこういうふうな対応が、やりにくいんじゃないかということで、自衛隊を退職された方がよいのではないかという意見を聞きました。自衛隊の退職年齢は若いと思います。50何歳

であれば社会経験も豊富ですし、お客に対する対応もできているんじゃないかということです。参考意見として、そういうところにも募集かけられるのもいいんじゃないかというふうに思いました。

(会 長) ありがとうございます。

先ほどのご意見について、その辺は何かご意見がありますでしょうか。

(委 員) 人手不足というところで、この後また議題に出るんじゃないかと、思っていました。

今のお話のように、どこに人材を求めるかというところですが、以前は転職をする際に、一番早いのはタクシー乗務員になるというところがありました。

現に私もUターンでこちらへ帰りまして、今の会社にいわゆる転職という形でおります。そういう事例もあります。

その中で今ちょうど具体的なお話がありまして、自衛隊の退官された方というのは、私どもも一つの人材確保の想定として、各方面に情報発信をして、人材の募集をかけているというところもございます。これはいろいろな方策の中で、自衛隊退官者のみならず、多種含めてやっております。

現場の人間としては、日々努めてやっているという状況ですので、もうしばらくといたしますか、見てやっていただきたいというのが現状でございます。

(会 長) ありがとうございました。

市役所の方でも出雲駐屯地との関係性もありますので、ちょっと自衛隊の方にも様子を事務局の方から伺ってみたいと思います。貴重なご意見ありがとうございます。

(委 員) 先ほどから担い手不足ということで、この会議でも、1回述べさせていただきましたが、タクシー業界、バス業界、ともに今一番厳しいんじゃないかと思います。

先般、経済ウイークリーの方でも、鳥取の方でバス運転手が不足しているという記事も出ておりましたが、バスの運転手不足というのが、バスの路線規模を決めるといっても過言ではないぐらい、一番の今解決しないとイケない問題だなというふうに認識しております。

今、タクシーの日に運転手募集の案内、グッズを利用者に配布、バスの日の新聞広告の実施などありますが、例えば地方の方で定期的に、バス或いはタクシーの募集をしておるとか、或いは教育委員会を通じて、1回だけではなく定期的に、発信していただけたらと思っております。私ども高卒の学生さんを新卒で雇いまして、今2人ほど、免許を取りに行かせております。1人はもう免許を取りまして、今、手前の方で教育をし、まもなく運行する、またもう1人は今、平田自動車学校の方に通わせております。

何分バス運転手というのが、給与が安い、拘束時間が長い、事故をすれば、責任が非常に大きくかかってくるというところで、なかなか目を向けていただけない事業でもありますが、賃金アップ等の待遇面を上げていくことで、バスの運転手のなり手というのをふやしていきたいと思っておりますのでご協力をお願いしたいと思います。

(委員)

私どもの団体は、バス、或いはタクシー、鉄道に携わる労働者の協議会でございます。

今の運転手不足の話が事業者側の方からも出ておりますが、タクシー、バスにつきましては、本当に全国的に危機的な状況になっています。

先ほどもお話がありましたが、運転手が足りないので路線を廃止する等々についても、この島根県下でも特に西部地域においては、顕著に現れておりまして、本当に喫緊の課題であると感じております。

先ほども若い人、それから自衛隊の方を採用すればいいというお話も、確かに我々の業界の中でもそういう動きが出始めてきていますが一番の問題は労働条件が非常に悪いということ。この社会的な認知がまだされておられません。

そのため、来年、時間外労働を規制するという大きな法改正、2024年問題ということも皆さんもよく耳にされると思いますけれども、今までは、36協定と言う時間外労働の規制について、お医者様とか、運転手業務は青天井、何時間時間外労働しても大丈夫という緩和措置がとられていた中で、来年、ようやく年間960時間までしか仕事ができなくなるという状況になります。

そうすると、ますます人が足らなくなるという状況に陥るんですが、これをしないと労働条件が良くなっていかないので人が向いてくれないということ。

給料水準は年収300万円程度、タクシーが大体その程度です。これは若い人でも、60歳を超えた人でも、ほぼその金額になります。というのが、ほとんどお客さんが乗らないときには、県の最低賃金×時間で計算するので、とても生活ができるような数字じゃない。

お客さんが乗っていただいた場合には、その運賃の45～50%が自分の手取りみたいになるというシステムですので、なかなか他の産業に比べましても、生活水準が非常に低いということで、若い人がそのような業界に入っていないというのが実態です。

東京、大阪などの非常にお客さんの多い地域では、そういう選択肢も出てくると思いますが、この地域ではそれだけの売上につながっていかない。そうなっていくと、様々なところにPRしても、入ったはいいけどすぐ辞めていくという状況が今後も続いていくと思います。

我々労働組合側はバス、タクシーの特定の最低賃金を決めてくれという

ことも申し上げております。県の最低賃金じゃなくて、この業種はこれ以上の賃金を上げてというふうなことも申し上げておりますけども、実態としては、追いついていないのが現状であります。

こうしておりましても、来年 2024 年がどんどん近づいてきます。これは公共交通にも大きく影響を与えるような状況にもなってくると思いますので、運賃値上げというの、我々も本当に考えております。

運賃を値上げしながら、その労働条件を良くして、自分の子供もこの業界に入られるというような職業にしていこうと思っておりますが、ちまたでは昔のように、自分の子供をこの業界に入れようとは思えないということが聞こえております。

やはり運賃も含めた中で、この公共事業というのは本当に収益率の低いもので、そういうところも皆さんに理解をしていただき、この運転手不足について、一体となってやっていければと思っ少ししゃべらせていただきました。大変貴重な時間すいませんでした。以上です。

(委員) 今の担い手不足というところで実施主体者として、若干お話をさせていただきます。

ここにはそれぞれタクシー、バスでのお話をさせていただいております。それ以外にもまだ内容が固まってはいいないですが、今年度は島根県の交通対策課さんの方で、公共交通人材確保推進事業として、協会が行う公共交通業界 P R、要は入職活動を促進するような広報活動等に対して、200 万円ほど予算を組んでいただいております。

これから、県の交通対策課さんと内容について議論しながら進めていきたいと思っておりますが、先ほどのご意見も参考にさせていただきながら、よりよいものにしていきたいと思っておりますのでひとつよろしく願いいたします。

(会長) ありがとうございます。委員の皆さんにいろいろご発言いただきました。担い手不足というのは非常に大事な課題ということで、この計画の中にも掲げておりますが、交通事業者さんだけではなく、行政、そして地域の方もおっしゃったように一体となって、特効薬があるわけじゃないので、一步一步でも着実に進めていかなければならないと思っところあります。

事務局の方で何かこの件についてコメントがございますか。

(事務局) この計画を進めていくためには、運転手さんがいないと先に行けないとこの 4 月にきて計画書を読ませていただいたときに、感じたことでございます。

会長がおっしゃるような何か特効薬、策があるかと言われると、具体策は思いつかないですが、自動運転というのが報道ではありますが、それはもう少し先の話ということであれば、やはりこの計画を進めていくうえ

で、本当に、運転手さんがいないとこの計画進めていけないというのが最初の第1の感想でございます。

行政だけでとか、業者さんだけでということではなく、皆さん一体となり、この問題に対応していかないといけないというのを、改めて皆さんの意見を聞いて感じたところでございます。

行政で何ができるかというのがありますが、これは全国的な問題だというふうにも報道されてますので、島根県だけの出雲市だけの問題ではないと思っておりますので、皆さん知恵を出し合って、解決に向けて、良い方向に向けて努力をしていきたいと思っておりますので、改めてよろしくお願いたします。

(会 長) その他ありますでしょうか。

交通事業者さんの方で、その他にこういった事業を実施するという内容があれば、ご説明ご発言いただきたいと思っておりますがどうでしょうか。

一畑電車さん、よろしかったでしょうか。

(委 員) 今回の施策の中で施策の1-3、1ページ目ですね、鉄道の利用促進強化ということで、出雲市さんの事業主体ということで記載をいただいているところでございます。

昨年度一昨年度までは、弊社の方でも乗車券の購入方法等のイベント開催ができない状況が続いておりました。

一昨年度、出雲市様の方の小学校の統合に伴いまして平田地区の方で朝陽小学校が新設されました。こちらは弊社の湖遊館新駅の間近の学校ということもありまして、一畑口の周辺の児童さんの通学手段ということで弊社の電車をご利用いただいているという状況になりました。

これに伴いまして、通学される児童さんを招きまして、PTAの方と一緒にになりまして、電車の乗り方教室を初めて開催させていただいたところでございます。

我々一畑電車の方も、いわゆる人員削減、合理化という流れの中で、電車のワンマン運転をさせていただいているところでございます。

有人の駅ですと、切符を買って改札を通過してということで対応できますが、無人駅につきましては、バスと同じような乗車方法をとらせていただいておりますが、やはり住民の皆様もご利用機会がなかなかございませんと電車の乗り方もよく分からないというご意見もいただいたりしているところがございます。

そのようなこともございますので、今回のこの利用促進強化ということで、乗り方教室、実際に開催をさせていただきまして、利用促進を図っていききたいというふうに思っております。

また弊社の施策としてなんですけど、今年度も、これから先一畑電車をご利用いただく皆様に向けてということで、沿線の保育園幼稚園の方に専用

列車を設けて運行するというイベント企画をし、案内状を出しました。有償にはなりますが、一畑電車に乗ろうという題目で一畑電車の中で絵本の読み聞かせをさせていただき、併せて電車の乗り方ですとかルールですとかを指導させていただくというイベントです。

これも実は一昨年から開催しており、当初は松江市、出雲市、島根県で構成されている一畑電車沿線地域対策協議会の支援をいただきながら開催させていただきました。その当時は10本運行させていただいたんですが、コロナ禍ということもあり、なかなか出かける機会がなかった各保育施設から大変好評を得まして、年間10組募集かけたところが即時販売終了という状況になりました。

今年度はこれを倍増しまして、20本で募集させていただきました。春季で10本。秋季で5本。寒いのでどうかと思ったんですが、冬季2月～3月に5本ということで計20本設定させていただいて、4月の中旬に各保育施設の方に、郵便で案内させていただいたんですが、既に17本、春から秋口は今満員という状態になっているところでございます。

地道なところではございますけれども、これから先、使っていただく皆様、保育園、幼稚園に通っている皆様に、少しでも電車に親しんでいただくという形で、我々の方も施策を行っているところでございます。

地域公共交通というところで考えますと、どうしても鉄道事業者はある意味、幹とみなすような形で事業を行っていかねばなりません。バスと違いレールという縛りがありますのでそれ以外のところに足を運ぶということができない事業ですが、それが故にこの幹の部分、しっかりと担っていかねばいけないというふうに考えております。

その中で利用促進という形の事業をこれからも引き続き行っていきたいと思います。また秋口に向かっては、各種イベントも開催する予定、計画でございます。また随時弊社のホームページ、場合によっては出雲市様の方にもお手伝いいただきながら、広報活動を進め、利用促進に向かわせていただきたいと思いますのでどうぞよろしく願いいたします。

大変雑駁で申し訳ないんですが、以上でございます。

(会 長)

ありがとうございました。

先ほどご説明いただいた事業については事務局の方でまた資料を作って、皆様の方に次回の会議で報告していただければと思います。よろしく申し上げます。

予定しておりました議事につきましては終了しました。全体を通じて、皆様から、ご意見、ご質問をいただきたいと思いますがいかがでございましょうか。

～質疑なし～

それでは、予定していた議事はすべて終了いたしましたので進行の方事

務局にお返しいたします。

6. その他

(事務局)

ありがとうございました。

たくさんの意見をいただきました。ありがとうございます。

それでは閉会に当たり、副会長からごあいさつをいただきたいと思いますので、ひとつよろしく願いいたします。

7. 閉会

(副会長)

今日は、今年度第 1 回の地域公共交通活性化協議会ということで長時間にわたりご論議いただきましてありがとうございました。今日まで、議論してきたことが、この立派なカラーの交通計画書になりまして、感慨深いものがあるような気がします。

高齢化に伴う免許返納とかいろんなことがありまして、有効的なあるいは効率的な公共交通というのが、ますます求められるということになります。

一方では核家族化とか、地域によっては自治会の脱退など、どちらかと言えば個性の時代、個の時代になってきておりまして、なかなか乗合とか共助とか、助けとかっていうのが、だんだん少し希薄になってきているんじゃないのかなという側面もございます。

そうした中、出雲市に公共交通の計画書ができて、これから実行するということになり大変心強く思っているところでございます。

しかしながら、今日もありましたようにいろんな課題がございまして、むしろこれからは正念場ではないかなという気もいたします。そして地域の様々な交通システムがございまして費用対効果も含め、そういう課題等々を検討し、よりよい交通体系がこれからできるよう、そしてまた、この計画を実施することによって、今後基準の見直し等々があり、そうした中である程度大胆な改革といったことをまたしていかなければならない。

役割が、ますます大変だろうと思えますけれども、どうか皆様方の力を合わせまして、良い計画がさらにできますようによろしく願い申し上げまして、挨拶とさせていただきます。本日はご苦労様でした。